

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやし屋本舗

作成日: 令和 2 年 1 月 13 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しているが、参加委員が固定化し、内容も報告が中心になっているので参加人員を増加し、会議を活性化してホーム運営や業務に反映させていく。	運営推進委員を地域で活動している有識者、知見者(複数の民生委員、薬剤師、公民館館長、交番の警察官、他グループホーム管理者)等に参加を要請しホームの発展だけでなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回併設事業所と合同の避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者1人で9人の利用者を安全に避難場所に避難誘導することの難しさを実感し、避難訓練の実施方法を検討していく	夜勤者を中心に職員が利用者役になって、夜勤者が利用者役の職員をベッドから起こして、安全な場所へ誘導する訓練を目標タイムを設定し、実施できるまで何回も訓練を重ね、夜勤者が自信を持って利用者を誘導出来る避難体制を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。